川崎

2.13 大会

一、松方社長の帰社に対する労働者の態度

松方社長帰社の報あるや、昨夏争議に参加して解首せられたる川崎造船所職工は頻りに暗躍し日本労働総同盟神戸聯合会を中心として陳情書を認め居たるが、去る二月十二日、湊川公園勧業館に於て松方同社長、被解首者大会を開催せり、

入場料三十銭を取りたるに拘らず入場者(主として現に川崎に使役せる職工)引きもきらず約千二百名に達し満員の好況を呈せり、

被解首者の二人行政長谷(神戸聯合会長)を座長に推し大会の形式をとり、川島氏氏(被解首者)別紙の如き宣言、陳情書を朗読して大拍手裡に可決せり、次いで座長指名にて松方社長に対する交渉委員を選び、柴田金太郎、青柳善一以下数名当選したり、

次いで演説会に移り何れも昨夏の争議をより深刻に説いて其の不当を語り、横暴を痛罵し会衆何れも之れに和せり、

かくて十時半、「労働歌」を合唱して散会せり、

此の日の警官の態度は頗る温和にして些かも干渉がましき言動なかりき。

因みに被解首者二十五名の募金会費も困難の様に見受けられたが、場内の職工が相呼応